

★ A HAPPY NEW YEAR ★ 2018 ★

2018年がいよいよスタートです。今年は平成30年目でもありますね。新しい幕開けの朝は 澄み切ったすがすがしい青空が広がり、温かな陽射しに満ち満ちていました。これから始まる この1年の歩みも 神様の輝く光の中、子ども達の明るい笑顔が あられる毎日をすごせますよう 心から祈りました。

12月28日の終業礼拝で「元気でね！また ここで会おうね！」と再会を互いに楽しみにしてから約1週間ぶりに 今朝 顔を合わせた仲間達でしたがそれぞれのお家で ゆっくりと過ごした ひとりひとりの姿は皆、どこことなく心にゆとりが感じられ、ちょっぴり遅しく頼もしくなり 微笑ましかったです。今年度のクリスマスは、思いがけなく インフルエンザや 感染性胃腸炎など様々なウィルスが猛威を振るい、日に日に人数が少なくなり さびしくなっていく状況には思わず「何故!？」と 神様に憤りの祈りをしてしまうほどでした。誰より 苦しい思いをしてお休みしている子ども達を想うと 胸が痛みました。特に 年長組の子ども達にとっては、つのぶえで迎える最後のクリスマスです。「何とかして全員で！」と一緒に迎えることだけを ただひたすら願っていた私達でしたが、神様の御心は 異なるところにあったことを知らされました。クリスマスまでのアドベントの1か月間、子ども達は 共に時を分かち合い 歩みながら 何度も何度もぶつかり合い その度に心を精一杯 使って、互いをわかろうと頑張りました。涙や笑い声がいっぱいにあられ続けた毎日でした。それらを通して心の絆が強まり、いるか組の皆は「友達」から「仲間」へといつのまにか変わっていったのです。互いを愛し、信じ、助け、支え合う関係をしっかりと築いていました。皆様も御存知の通り、23日のクリスマスには9名のメンバー達でのページェントとなりましたが、それぞれの心の中には「今いない仲間分まで・仲間のために・仲間と一緒に」と かけがえのない大切な存在が ちゃんと在りました。メッセンジャーという 聖書の出来事を伝えることの他に 仲間達への確かな愛と使命をしっかりと携えていました。成長した素晴らしい姿に そして何より優しい心に 私も感動し大号泣でした。その後、25、26、27、28日と 元気になって登園してきたメンバー達をその度に 大喜びで抱きしめ、笑顔と拍手で迎え「ページェントやろう！」と一緒に夢中で楽しみ 満足そうでした。「全員が揃うまで ずーっとやろう！」そう言い合っていた子ども達の姿にほのぼのとした温かな幸せを感じました。今日こうして新年となり、来週は全員の元気な顔が 揃いそうです。本来ならお正月のディスプレイに変えるところですが、休んでいた子ども達のためにまだもう少しの間 クリスマスの雰囲気を残したまま 過ごしたいと思います。そんな子ども達もあと3か月で 就学です。この経験は きっと彼らの人生にすてきな宝物として 豊かに活かされていくことと信じながら、今年も優しく心温かな歩みが出来ますよう 皆様の上に 神様の豊かな祝福をお祈りします。『愛する者たち、私たちは 互いに愛し合いましょう（Iヨハネ4:7）』（石田 記）